

子どもの健やかな成長を 見守るために

越前市教育委員会事務局
教育振興課・生涯学習課

学校における情報モラル教育の実施

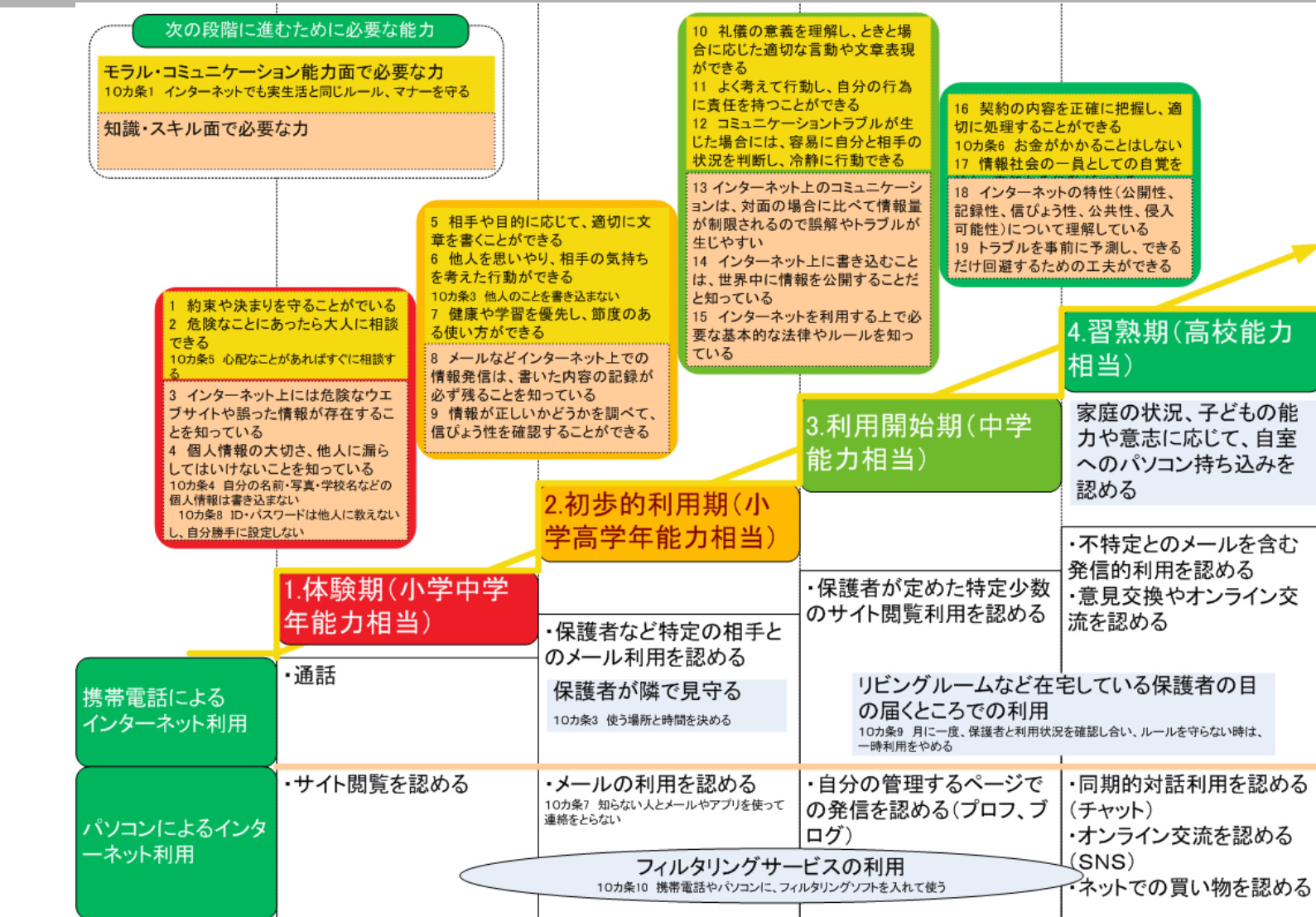
モラル・コミュニケーション能力

- ・情報を正しく安全に利用する方法を知る。
(技術、国語、社会等の授業を通じて)
- ・特別活動や道徳などで行っている指導が情報モラルの指導の基盤に。
「人に温かい心で接し、親切にする」 「友達と仲良くし、助け合う」
「相手への影響を考えて行動する」

知識・スキル・健康との関わり

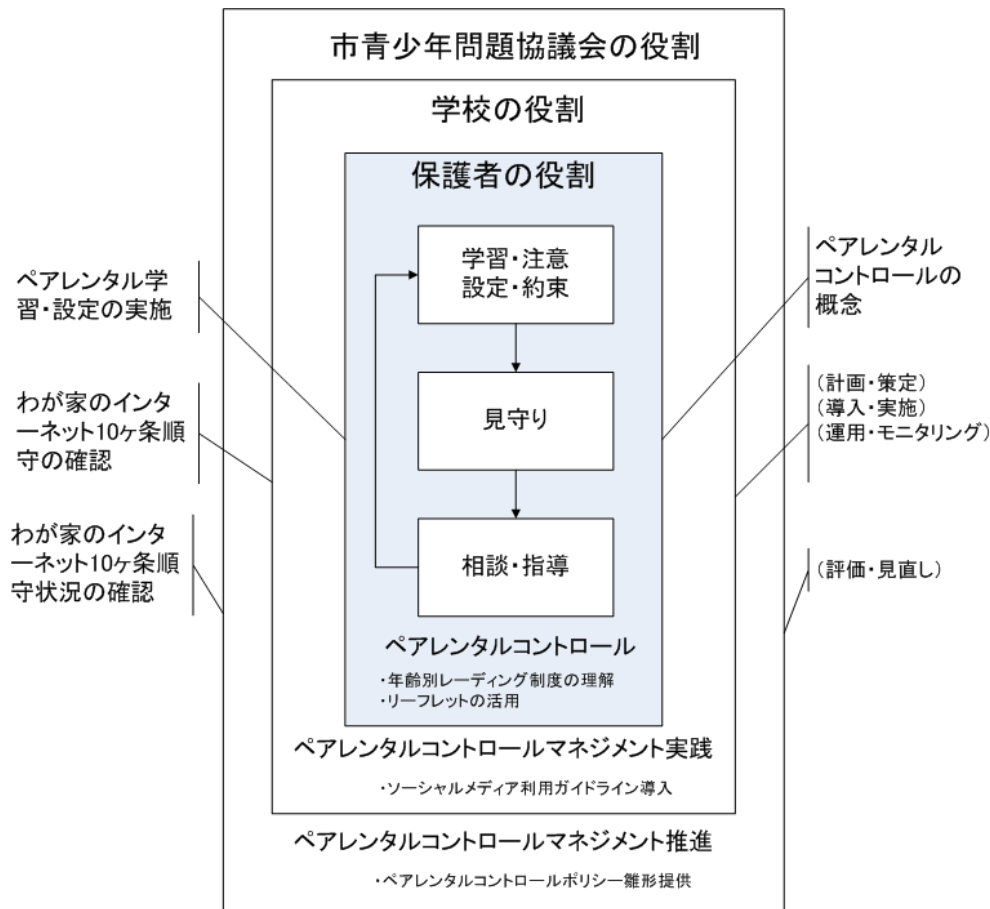
- ・情報セキュリティの基本を知る。 「自他の個人情報を書きこまない」
- ・見知らぬ人とつながる危険性を知る。 「相手の正体が分からない」
- ・ルールとマナーを知り、行動に責任をもつ。 「知的財産権の尊重」「悪口を書かない」
- ・健康を害するような使い方はしない。

子どもの能力に合わせた「段階的利用」の紹介



《ペアレンタルコントロールの概念》

親たちがインターネットのメディア特性を学び、子どもに買い与える前にフィルタリングをかけるなど利用の注意をし、利用状況を把握、管理することができるペアレンタルコントロールの能力を獲得して、学校にネットトラブルが及ばないようにする考え方。



保護者に対する普及啓発支援

相互に連携しながら、相互に協力し役割分担を決めて普及啓発を進める。

- ・フィルタリング設定やメールやゲーム等の使い過ぎ 民間事業者
- ・インターネット利用による犯罪・被害状況
「ひまわり教室」による危険ドラッグ対策 警察
- ・家庭でのルールづくり PTA
- ・マネジメント推進、効果測定 青少年問題協議会

まとめ

子どもだけではなく、保護者も学び、変わる必要があります

インターネット特有の問題は少なく、
本質的には子育ての一環です

能力を見極める4つの段階

- ステップ1 家庭のルールを決めて守らせる (小学校中学年能力相当)
- ステップ2 子どもが節度ある行動ができるよう促す (小学校高学年能力相当)
- ステップ3 口伝えの話が事実と異なる場合があるなど、情報の特性を伝える
さまざまな場面に応じた対処法をシミュレーションさせる (中学生能力相当)
- ステップ4 情報収集や意思決定させる機会を与え、そのやり方をチェックし、よりよい方法をアドバイスする習熟期 (高校生能力相当)